

# アートにふれよう

西郷さんの銅像のすぐそばにある市立美術館、行ったことがありますか？芸術が好きな人もそれほどでもない人も、きつと楽しめる方法がありますよ。

【市立美術館 ☎ 224・3400】



## 市立美術館には何がある？

市立美術館は、3つのコレクションの柱を中心に、関係する作品の収集を行っています。

### ◆郷土ゆかりの作家

日本の近代美術の発展に貢献した黒田清輝や藤島武一のほか橋口五葉ごようなど、鹿児島ゆかりの作家の作品。

▲橋口五葉「黄葉に栗鼠」



### ◆桜島コレクション

多くの作家が題材としてきた桜島や、鹿児島風景を取り上げた作品。

▲岩下三四「桜島晩秋」



### ◆西洋美術

モネやシスレー、セザンヌ、ロダンなど、19世紀末～現代の西洋美術作品。

コレクションは、常設展で展示しているほか、他の美術館へ貸し出しを行うこともあります。他施設と相互に作品を貸し借りして充実した展覧会を企画できるのも、豊富なコレクションのおかげなのです。

コレクションは、常設展で展示しているほか、他の美術館へ貸し出しを行うこともあります。他施設と相互に作品を貸し借りして充実した展覧会を企画できるのも、豊富なコレクションのおかげなのです。



▲アルフレッド・シスレー「サン・マメスのロワン河畔の風景」



## 美術館初心者にもおすすめ ギャラリートーク

毎週土曜日14時から、展示作品について学芸員が分かりやすく解説するギャラリートークを開催しています。申し込み不要、観覧料のみでどなたでも参加できます。



### 初めてのギャラリートーク

美術館の近くを通ることはあっても、なかなか足を踏み入れられなかった私。「ギャラリートーク」というものがあると知り、初めて参加してみました。

この日は、開催中の特別企画展のギャラリートーク。13時55分くらいには子どもを含む幅広い年代の人たちが約40人も集まっていて驚きました。企画展を担当した林学芸員が、各作品の見どころはもちろんです、作家の生い立ちやほかの作家とのつながり、時代背景、当時の技術など、いろいろなエピソードをやさしく丁寧な語りで教えてくれました。企画展に懸ける学芸員の思いも聞けて、もっとじっくり作品を見たくくなります。

予約不要で、当日気軽に参加できることも魅力です。土曜の昼下がりに、ふらっと行くのもいいなと思いました。

(堀川)



## もっと知りたい、 自分で作ってみたい

美術館では、日曜美術講座や学芸講座のほか、特別企画展のテーマに合わせた講演会など、市民の皆さんが気軽に美術に親しめるイベントも企画しています。

初めての人でも楽しめます。ぜひ参加してください。



市立美術館 田村 学芸員

### 日曜美術講座 木工入門 自然木でつくるおしゃれな木皿

荒削りされた木の細部を削ってサンドペーパーで磨きをかけ、樹脂塗料を塗って耐水性のおしゃれな木皿を作ります。

- 対象 中学生以上
- 日時 11月25日(日)10時～16時
- 定員 20人(超えたら抽選) 料金 1550円
- 必要なもの 彫刻刀、エプロン、マスクなど
- 申し込み 往復はがきかファクス、メールで講座名、住所(郵便番号)、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を11月14日(必着)までに〒892-0853城山町4-36市立美術館FAX224-3409 E-mail bijutu-gaku@city.kagoshima.lg.jpへ



11月25日の講師・風間信秀氏(木工作家・松陽高校非常勤講師)の作品

市立美術館からのお知らせは、毎月11面に掲載しています。ぜひご覧ください。